

運動障害(JMDD)投稿規定 (2021年4月1日改訂)

A. 論文の内容と種類

運動障害を起こす神経筋疾患の診断, 病因, 病態生理, 治療, リハビリテーションに関するオリジナルな研究で, 発表形式としては原著・症例報告・短報の3種類がある. これとは別に日本運動障害研究会での特別講演は論文の形で特別掲載する. また独創的な視点を持った総説も掲載する.

B. 著作権

本誌掲載論文の著作権は日本運動障害研究会に所属する.

C. 論文の募集と応募資格

原著・症例報告は国内外の他の雑誌にすでに掲載されたりもしくは現在投稿中でない論文に限る.

同一内容の論文を原著・症例報告の形式で他の雑誌に掲載希望の場合は短報とする.

投稿者は会員に限る. 会員でない場合には速やかに入会手続きを取る.

日本運動障害研究会での演題発表者は全員, 研究会終了後2か月以内にその内容を論文の形式にして送付しなければならない. その際, 原著・症例報告・短報のいずれを希望するかを明記する.

D. 論文の採否

投稿論文の採否, 論文の種類は編集委員会が査読の上決定する. 審査の結果, 原稿の加筆, 削除, 訂正を求められることがある.

E. 原稿の構成

原稿は表紙/論文要旨/本文/文献/英文抄録/写真・図・表およびその説明から構成される. これは原著・症例報告・短報・総説すべてに共通である.

原稿はA4の用紙に11ポイントで印字し, 1頁あたり40字×30行(1,200字)とする.

1. 表紙 : 表題, 著者名(著者数に制限はない.), 所属, キーワード(日本語5個以内), 連絡先(氏名, 住所, 電話番号, FAX番号, メールアドレス), 表題には略語を用いない.
2. 論文要旨 : 300字以内(要旨は1枚独立させる.)
3. 本文 : 緒言, 方法または症例提示, 結果, 考察, 謝辞の順とする.
4. 引用文献 : 本文中の引用順に記す.
5. 英文抄録 : 表題, 著者, 所属, key words(5個以内, 日本語キーワードと対応させる.), 英文抄録の順. 英文抄録は内容全体をカバーしているものでなくてはならない.
6. 写真・図・表およびその説明

F. 論文の長さ, 引用文献数, 図表の数

	本文	図表数合計	引用文献数	英文抄録
原著	6400字	6個以内	20個以内	350-450単語
症例報告	4800字	5個以内	10個以内	250-350単語
短報	2400字	2個以内	5個以内	150-200単語
総説	8000字	6個以内	50個以内	350-450単語

G. 論文の書き方

1. 欧文の原稿は受け付けない. ただし外国人の投稿の場合はこの限りではない.
2. 神経学用語については日本神経学会の用語集に従うこと.
3. 外国語の固有名詞(人名, 地名)は原語のままアルファベットで表記し, 頭文字は大文字とする. ただ

し、日本語化しているものはなるべく片仮名とする。本文の外国語単語（病名、一般名、その他）の頭文字は、ドイツ語および文頭の場合を除きすべて小文字とする。

4. 数字をは算用数字、度量衡単位はCGS単位（m, cm, cm², l, dl, ml, kg, g, mg, μg, ngなど）を用いる。
5. 髄液細胞数は /mm³もしくは /μlであらわす。
6. 年号は西暦で統一する。

H. 写真・図・表の作り方

写真・図は原則として白黒でプリントし、手札型以上の大きさとし24×16 cm以内とする。カラー写真は別に料金を徴収する。組織標本写真には染色法と倍率をつける。MRIには撮像条件を記載する。写真・図の裏に著者名、番号をつける。写真・図・表の表題と説明は別紙に記入する。データなどの表は印刷所が写植する。

I. 文献の書き方

文献は本文に引用されているもののみをあげ、引用番号は本文の引用順による。本文中の引用箇所には肩番号をつける。文献の書き方は下記のように統一し、欧文雑誌の略名は最近のIndex Medicisに従う。コンマ、ピリオド、コロンのはあとはスペースを半角空ける。

<雑誌>

著者、表題、雑誌名、西暦発行年；巻：起始頁-最終頁。著者氏名、編者氏名は、4名以上の場合は3名を書き、他はーら、または-et alとする。

例1： 亀井徹正，中川 仁，内山富士雄ら。ギラン・バレー症候群に対する免疫グロブリン大量療法-血漿交換との比較-。臨床神経 1993； 33： 660-662。

例2： 田中 裕，宮崎眞佐男，津田光徳ら。Trapidilによる薬剤性髄膜炎。神経内科 1991； 35： 613-616。

例3： Lathrop GM, Lalouel JM, Julier C, et al. Strategies for multilocus linkage analysis. Proc Natl Acad Sci USA 1984； 81： 3443-3446。

例4： Ohta M, Nelson D, Nelson J, et al. Relationships between energy level in isolated Langerhans: A study at various pH value. Biochem Pharmacol 1991； 42： 593-598。

<書籍：単独または複数著者による>

著者、書名、版数、巻数、発行地、発行所名、西暦発行年：引用頁のみ入れる。

例1： 木村 淳。誘発筋電図と筋電図-理論と応用-第1版。東京：医学書院，1990： 129。

例2： Rubinstein LJ. Tumors of central nervous system. In: Atlas of Tumor Pathology. Series 2, Fascicle 6. Washington DC: Armed Forces Institute of Pathology, 1972: 245。

<編集書籍>

著者、表題、編集者名、書籍名、発行地：発行所名、西暦発行年：引用頁。

例1： 萬年 徹。脊髄血管障害。豊倉康夫編集。神経内科学書。東京：朝倉書店，1987： 411-417。

例2： Ehnholm C, Lukka M, Kuusi T, et al. Apolipoprotein E polymorphism in Finland. In: Seriver CR, Nestel PJ, editors. Excerpta Medica: Atherosclerosis VII. Amsterdam: Elsevier, 1986: 325-328。

J. 個人情報保護

個人情報保護の観点から投稿に際して全ての論文において、個人情報保護チェックリストが必要である。運動障害誌への患者の掲載同意書は著者が必ず投稿前に得て手で保管する。以下に従って必要書類をそろえて投稿するものとする。

(1) 投稿に際しては個人情報保護に関するチェックリストにチェックをつけ、同意書を投稿論文に添付する。

(2) 上記チェックリストで個人情報保護の観点から患者個人の同意書が必要とされるに該当する場合は、掲載同意書を患者個人から得る。なお複数の患者、家族からの同意書が必要な場合には全員から同意書を得ること。また意識障害や認知症などにより当該個人より同意書を得ることが困難な場合には、適切な代諾者（配偶者、親、子、後見人など）の同意で良い。

K. 原稿の送り方

1. 投稿原稿はメールの添付ファイルにて送付する。図表は作成した元ファイル（Word, Excell, PowerPoint等）も添付する。

2. 原稿の送り先：メールアドレス jmdd-office@umin.ac.jp
自治医科大学附属さいたま医療センター 脳神経内科
日本運動障害研究会 事務局 宛

L. 特別掲載

運動障害研究会での特別講演は論文の形で特別掲載する。論文の書き方はF-Hに従うが形式は自由。英文抄録を要する。

M. 掲載

1. 論文が採択された場合、論文題目、著者名、所属、論文要旨、本文、文献、表ならびに図表の説明、英文抄録のはいった最終版のファイルと、図表の元ファイル (Word, Excel, PowerPoint等) をアイベック社に送付する。
2. 校正は3日以内に出版社に返送しなければならない。
3. 掲載順は、受理された順番とする。

N. 掲載料

掲載料として1論文につき3,000円を徴収する。カラー印刷は実費を著者負担とする。
別冊は50部まで無料。それを越える分については50部単位で、50部につき3,000円徴収する。

O. 事務局（入会手続きなど）

〒330-8503 埼玉県さいたま市大宮区天沼町1-847
自治医科大学附属さいたま医療センター 脳神経内科
TEL 048-647-2111 (代表) FAX 048-648-5188
メールアドレス jmdd-office@umin.ac.jp
郵便振替口座 00180-3-594537 日本運動障害研究会事務局